



川崎市のほぼ真ん中に位置する中原区。区内では、等々力緑地や多摩川などの自然を生かしたまちづくりを区民が主役となって進めています。



こんなに大きいコイが！



川に入るときは、大人と一緒に行こうね



多摩川は宝物がいっぱいだよ！

～とどろき水辺の楽校～

「とどろき水辺の楽校」ってなに？

みなさんは多摩川に行ったことがありますか？
数年前まではあまり生き物もいなかった多摩川ですが、現在ではアユやコイなどたくさんの生物が息をし、多摩川は自然の宝物でいっぱいです。

「とどろき水辺の楽校」は、自然豊かな多摩川をとり戻し、子どもたちが遊んだり、自然や環境問題について学んだりする場をつくろうと活動している市民グループです。

水辺の楽校を支えているのは、地域のボランティアのみなさん。地域の町内会や学校や「水辺の楽校」に参加している子どもたちのお父さんやお母さんも協力して、子どもたちが安心して遊べるように力を合わせています。

どんなことをするの？

水辺の楽校では、春に開校式をおこない、年間を通じて、カヌー教室やアユなどが堰をこえられるようバケツリレーする「お魚救出作戦」、多摩川の土手に生えている草花を天ぷらにして食べるなど、多摩川と触れ合う楽しいイベントが盛りだくさん。一人で川に入るのは危険だけど、ボランティアのみなさんが一緒に川に入って、安心して遊べるように見守ってくれます。

参加した子どもたちからは、「多摩川で大冒険ができて、楽しかったよ！」、「かっぱの川流れは初めてでちょっと怖かった。でもまたやりたい！」など、多摩川の魅力を体いっぱい感じています。

自然の宝物がいっぱいの多摩川。みなさんも多摩川で遊んだり学んだりして、多摩川の新しい魅力を発見してみませんか。

多摩川にはワクワクする秘密の場所がいっぱい！
魚や鳥や草花の探検と一緒に
行こう！



とどろき水辺の楽校の鈴木眞智子さん

まちづくり事例だよ！

ちから はな みどり みんなの力で花と緑があふれるまちに



委員のみなさんで緑道を散策

ねんこうそういいんかい ～なかはら20年構想委員会～

20年後の中原区はどんなまち？

2002年（平成14年）に、区民のみなさんが集まって、約20年後の中原区をこんなまちにしたいということを話しあいました。そこで、まとめられた未来の中原区を、少しずつ実現するために「なかはら20年構想委員会」は誕生しました。

どんなことをしてるの？

委員会では、中原区を花と緑でいっぱいにするために、「緑でたどる散策コースづくり」や、「区の花パンジーの花回廊づくり」などを進めています。

区内の中丸子緑道を中心とした「緑でたどる散策コース」は、いまある公園や緑地、歴史的な施設を生かしたコースにしようと、委員会のみなさんが話しあって決めました。

また、「パンジーの花回廊」をつくるために、区内のパンジー農家の人たちの協力で、区内の商店街や学校、地域に住んでいる人たちにパンジーを配り、中原区が花いっぱいになるように活動を続けています。

ちいき ひと ささ 地域の人たちが支えているんだよ

区内の緑道は、地域の人たちが花の水やりなどをしたり掃除をしたりして大切に育てています。また、花の植え方や歩道のデザインなどは委員会の人たちだけではなく、近所に住んでいるみなさんも一緒になって考えました。



みんなで花の植え方などを考えるよ

ちょっと
コーヒープレイク



トピックス3

こんなまちづくりもしているよ こすぎえきしゅうへんさいかいはいつ ～小杉駅周辺再開発～



くやくしょ かい お もけい
区役所1階に置いてある模型

武蔵小杉駅の周りでは、今「再開発」が進んでいます。民間の会社と市が協力しながら、住宅や商業施設、駅前広場などをつくっています。また、図書館や市民館、消防署も新しくなり、横須賀線武蔵小杉新駅もつくり、数年後には新しいまちながみ誕生します。

まちづくり事例だよ！